

# 北海道駒ヶ岳

## 1 概況（平成 15 年 2 月）

25～26 日にかけてごく微小な地震が一時的に増加しましたが、噴煙や地殻変動に目立った変化はありませんでした。

## 2 噴煙活動の状況

昭和 4 年火口からの弱い噴煙が時折認められました（火口上最大 200m 程度）。噴煙はいずれも一時的で、風が弱く湿度が高い条件のときに観測されたことから、気象の影響と推定されます。

## 3 地震活動の状況

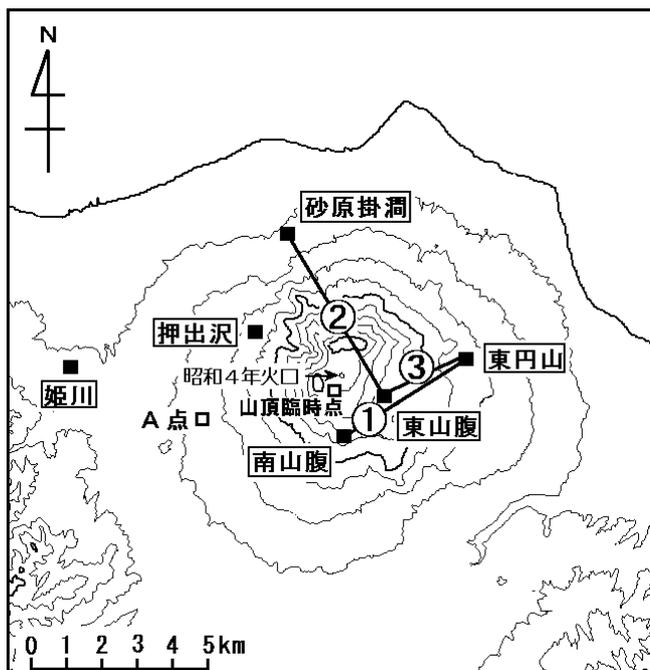
25～26 日にかけてごく微小な地震が増加しました。山頂付近に設置している臨時観測点における地震回数は、25 日 41 回、26 日 46 回で、26 日 15 時以降は少なくなっています。いずれの地震も振幅は小さく山麓の A 点（昭和 4 年火口の西南西約 4km）で計数の基準に達する地震はありませんでした。震源は山頂火口原の浅いところと推定されます。山頂臨時点の地震回数が 1 日 40 回を超えたのは 2000 年の噴火時以来です。A 点で基準に達する地震は 4 日と 8 日にそれぞれ 1 回発生しました。

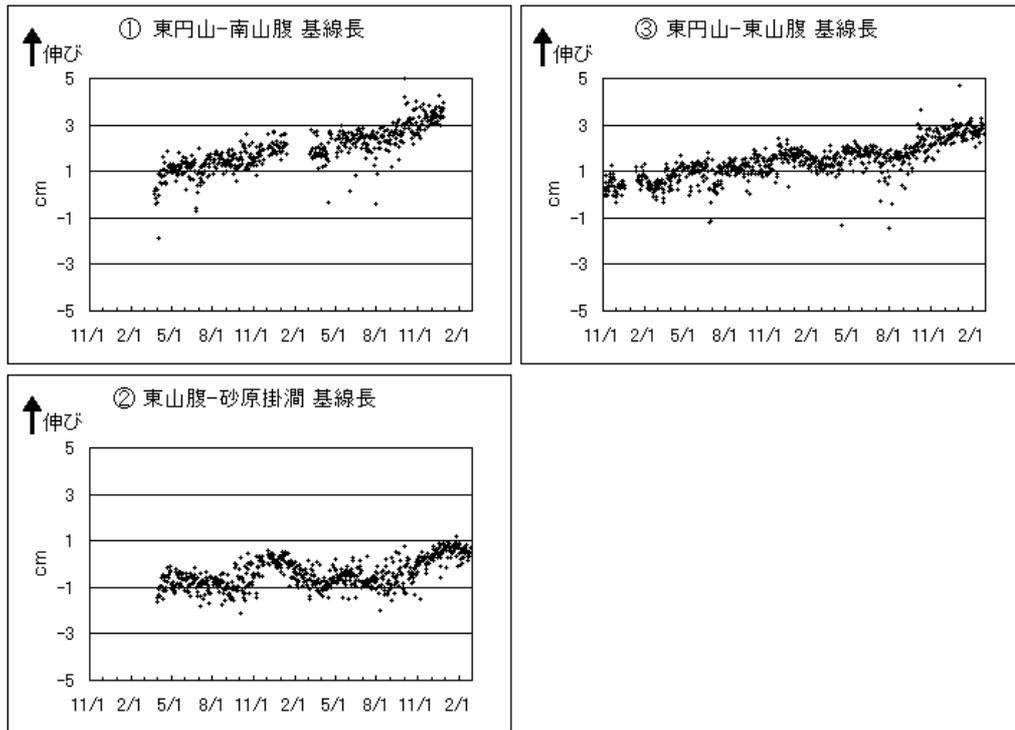
月別地震・微動回数（A 点）

2002～2003 年	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月
地震回数	7	1	1	1	1	1	0	0	0	1	0	2
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

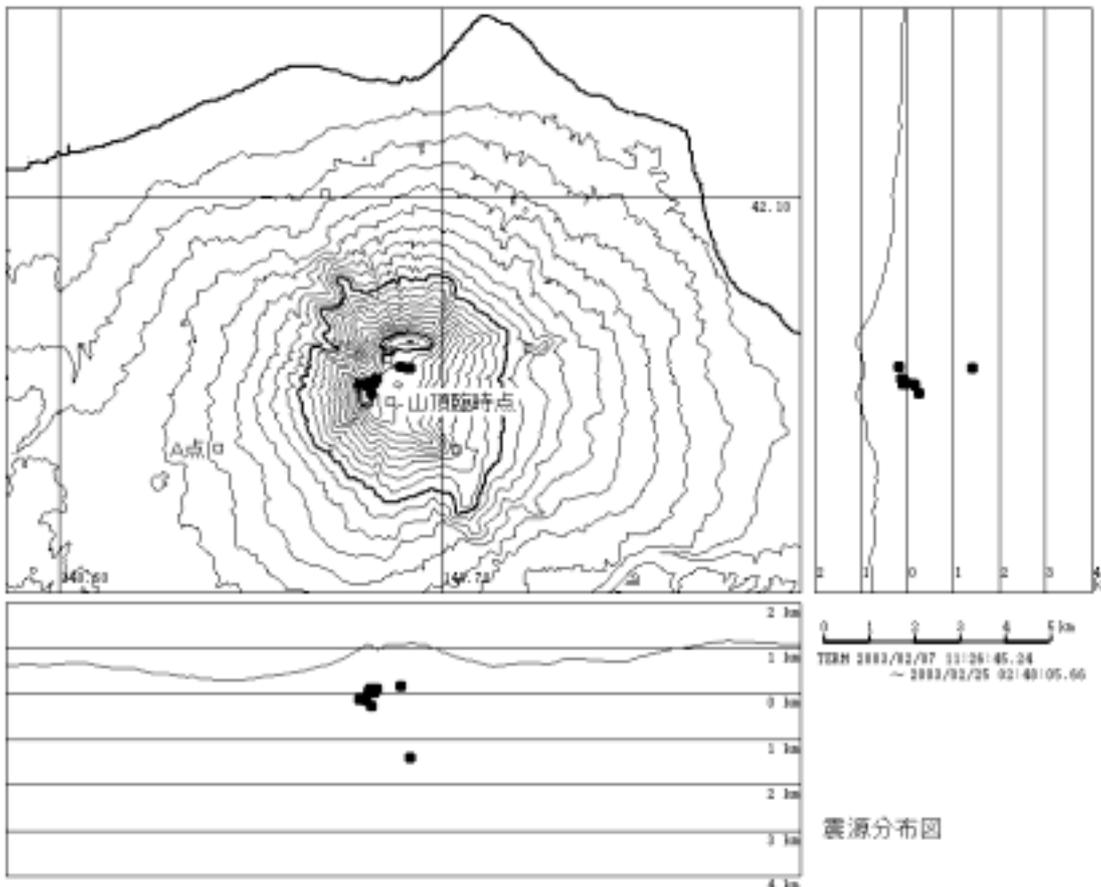
## 4 地殻変動の状況

G P S 観測で認められる基線長のわずかな伸びの傾向は、季節変動のほか、火山活動に起因する可能性もありますが、変動量が小さいため現在のところ判断できません。今後しばらくは様子を見ることとします。なお、南山腹観測点の機器が障害のため、①のグラフは今年 1 月以降データがありません。復旧まで南山腹以外のグラフ③を掲載します。



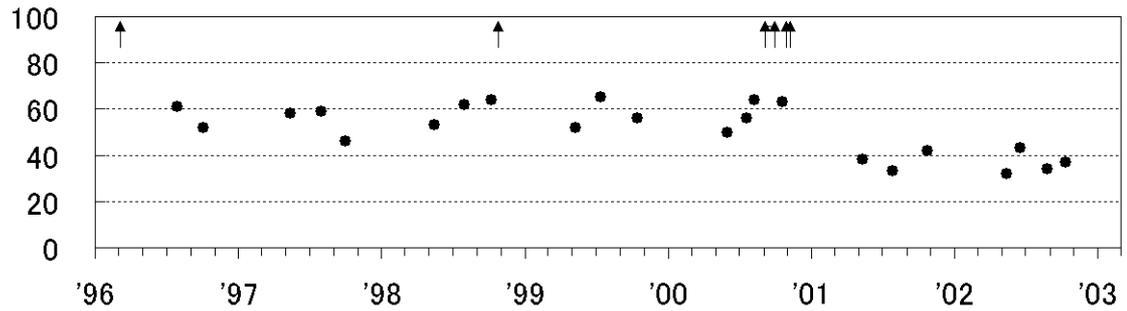


北海道駒ヶ岳基線長変化 (2000 年 11 月 1 日～2003 年 2 月 28 日)

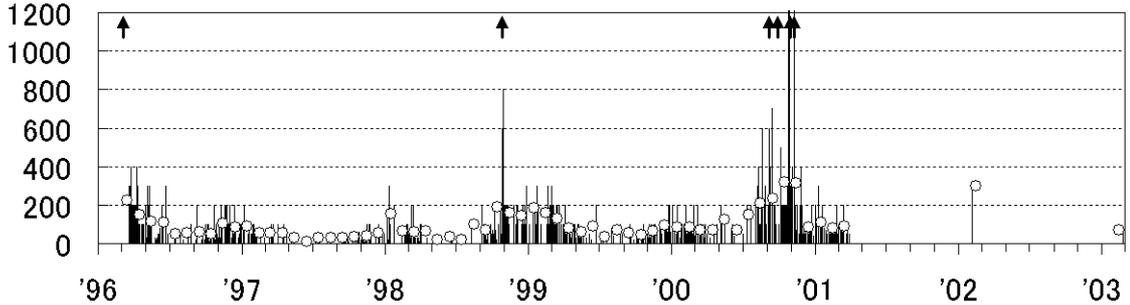


北海道駒ヶ岳震源分布図 (2003 年 2 月 1 日～2 月 28 日) □印は地震計

温度(°C) 北海道駒ヶ岳昭和4年火口温度(赤外放射温度計による)

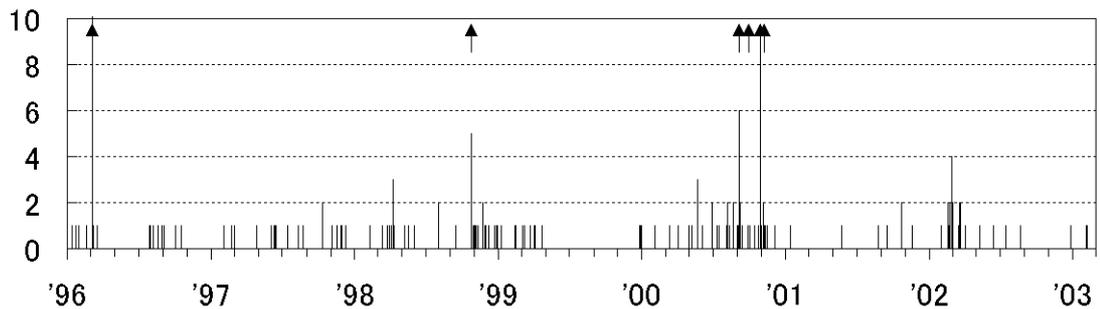


噴煙高度(m) 北海道駒ヶ岳昭和4年火口噴煙高度(鹿部カメラによる)

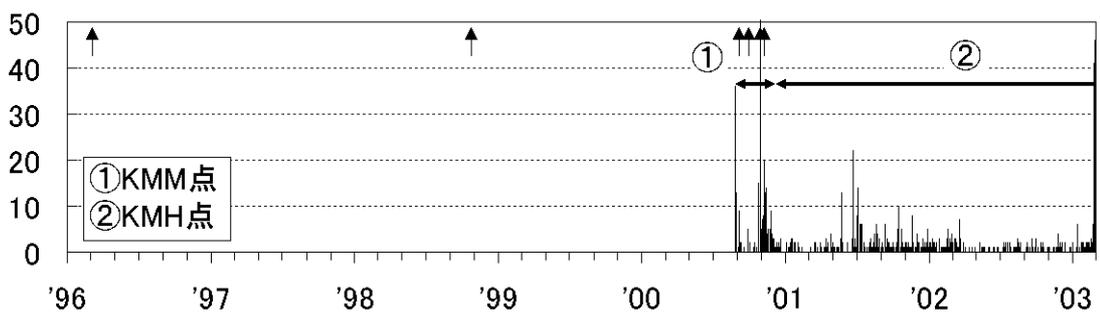


噴煙高度の棒グラフは定時観測(09・15時)の日最大、○印はその月平均

日別回数 北海道駒ヶ岳日別地震回数



日別回数 北海道駒ヶ岳山頂臨時点の地震回数



北海道駒ヶ岳火山活動経過図 (1996年1月1日~2003年2月28日) ↑印は噴火